

溶接メタラジーによる「つなぐ」技術の理解・モデル化とその応用

#溶接

#メタラジー (冶金学)

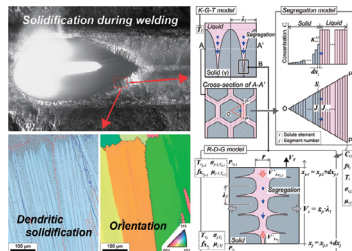
#金属

#モデル化

#材料評価

研究
内容

ものづくりにおいて金属材料を「つなぐ」技術は不可欠で、構造物の重要箇所には溶接・接合が使われている。その溶接・接合において素材の劣化（組織変化、性質・特性低下）は避けられず、溶接・接合箇所の安全性は構造物の製造から終局まで問題となる。その中でも金属材料に関連した問題を解決すべく、溶接メタラジー（溶接冶金学）に立脚して、問題を取り巻く現象論、そして現象のモデル化を基軸として問題を理解し、さらに応用することで問題解決に向けて取り組んでいる。



Develop+
応用分野

金属材料設計、マテリアルズ・インフォマティクス、金属積層造形



山下 正太郎 YAMASHITA Shotaro

マテリアル生産科学専攻 准教授
生産プロセス講座 複合化プロセス工学領域
才田研究室



論文・解説など

- [1] 山下, 才田: 溶接学会論文集, 38(4), 275-290 (2020).
- [2] 山下 他: 溶接学会論文集, 38(1), 1-10 (2020).
- [3] 山下 他: 溶接学会論文集, 35(1), 36-44 (2017).

連絡先HP

